

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 3 月 1 日 (2007.3.1)

【公開番号】特開 2001-72683 (P2001-72683A)

【公開日】平成 13 年 3 月 21 日 (2001.3.21)

【出願番号】特願 2000-10904 (P2000-10904)

【国際特許分類】

C 0 7 D 491/16 (2006.01)

C 0 7 D 519/00 (2006.01)

C 0 8 F 2/50 (2006.01)

C 0 9 B 57/02 (2006.01)

C 0 9 D 7/12 (2006.01)

C 0 9 K 3/00 (2006.01)

C 0 9 K 11/06 (2006.01)

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

【F I】

C 0 7 D 491/16

C 0 7 D 519/00

C 0 7 D 519/00 3 1 1

C 0 8 F 2/50

C 0 9 B 57/02 H

C 0 9 D 7/12

C 0 9 K 3/00 T

C 0 9 K 11/06 6 5 0

C 0 9 K 11/06 6 5 5

H 0 5 B 33/14 B

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 1 月 10 日 (2007.1.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

これまで、緑色域で発光する有機 E L 素子においては、ゲスト発光剤の配合による発光効率の改善が報告されているけれども、赤色域の発光においては、未だ効果的なゲスト発光剤が見出されておらず、依然として、完全な赤色発光とは程遠く、発光寿命が短かく、耐久性においても信頼性においても不十分な状況にある。例えば、特開平 10 - 60427 号公報及び米国特許第 4769292 号明細書に開示された有機 E L 素子は、輝度が充分でないうえに、発光が完全な赤色ではなく、したがって、フルカラーを実現するうえでなお問題があると言わざるを得ない。